



かながわ

議会だより

鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467 (23) 3000 FAX：0467 (23) 5825

鎌倉市議会ホームページ…………… 鎌倉市議会

検索



メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

令和4年(2022年)2月定例会(2月9日～3月18日)

令和4年(2022年)3月臨時会(3月25日)

令和4年度一般会計予算を可決

●定例会等の概要

- ・2月定例会では、5名の議員が一般質問を行い、8会派から代表質問が行われました。
- ・市長提出議案として、現年度議案は、条例関係議案3件、補正予算議案12件、その他議案3件を可決、副市長選任議案に同意しました。新年度議案は、条例議案9件、一般会計予算、6特別会計予算を可決しました。
- ・委員会提出議案1件、議員提出議案3件を可決しました。
- ・陳情3件を採択、陳情1件を不採択としました。
- ・3月臨時会では、議会議案第12号について市長から再議に付され、3月18日の議決のとおり決定することを否決しました。

●定例会等の主な動き

2月定例会/本会議(2/9、10)	……………	一般質問、議案上程、採決(2面・6面)
本会議(2/17、18、21)	……………	副議長の選挙、 代表質問、議案上程、採決(1面・4面～6面)
各常任委員会(2/22、24、25、28、3/2、3)	……………	議案、請願・陳情審査等(2面・3面)
本会議(3/4)	……………	委員長報告、議案上程、採決(6面)
予算等審査特別委員会(3/7～11、14、17)	……………	新年度議案審査(3面)
本会議(3/18)	……………	委員長報告、議案上程、採決(6面)
3月臨時会/本会議(3/25)	……………	再議、採決(6面)

鎌倉市議会 議会報告会

報告します!

2月定例会の内容を、
議員自身が市民の皆様
に報告というカタチで
お話しします。

「多世代をつなぐ 地域コミュニティ」

をテーマに、
議員が市民の皆様から
ご意見をお聞きします。

オンラインでも
開催するよ

令和4年(2022年)

5月21日(土)

10:00～11:30

大船学習センター3階 第1集会室

対面開催

定員10名

5月22日(日)

10:00～11:30

鎌倉市役所本庁舎2階 議会全員協議会室

対面開催

定員10名

5月22日(日)

14:00～15:30

オンライン開催

定員20名

各回とも、先着順。定員になり次第、受付を終了します。

申込方法

参加を希望される方は事前申込が必要となります。メール、ファックス、電話のいずれかの方法で、議会総務課へお申し込みください。

●必要事項

①氏名 ②電話番号 ③希望日時

※保育を希望される方(対面開催のみ)、手話通訳が必要な方は、お申し込み時にお知らせください。

●申込期間

5月1日(日)から13日(金)まで

●メールアドレス

gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

●ファックス番号

0467-23-5825

●電話番号

0467-23-3000

※電話でのお申し込みは、申込期間内の土日祝日を除く午前9時から午後5時までとなります。

●その他

【対面開催】

- ・今後の新型コロナウイルス感染の状況によっては、対面による開催は中止とさせていただきます場合があります。
- ・大船学習センター、鎌倉市役所ともに駐車場に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

【オンライン開催】

- ・申込期間終了後、いただいたメールアドレスに参加用URLを返信します。
- ・Microsoft Teamsのアプリのインストールが必要となります。

詳細はホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。

前回参加した方の感想

- ・開催自体には満足。ただ、もっと質疑応答が活発になるといいなと思った。
- ・他の参加者の質問が興味深く、それに応答する議員の回答も真摯だった。
- ・コロナが落ち着いた後はハイブリッド開催(オンライン+会場)の方が、多様な人々に参加してもらえと思う。(アンケートから抜粋)

各派代表質問

2月17日、18日、21日の本会議において、令和4年度予算議案に対する各派代表質問が行われました。各会派の質問者は次のとおりです。

① 鎌倉のヴィジョンを考える会	(後藤 吾郎 議員)
② 鎌倉アップデートチャレンジ	(藤本あさこ 議員)
③ 公明党鎌倉市議会議員団	(児玉 文彦 議員)
④ 日本共産党鎌倉市議会議員団	(高野 洋一 議員)
⑤ 夢みらい鎌倉	(前川 綾子 議員)
⑥ 神奈川ネットワーク運動・鎌倉	(保坂 令子 議員)
⑦ 鎌倉かわせみクラブ	(竹田ゆかり 議員)
⑧ 自由民主党鎌倉市議会議員団	(志田 一宏 議員)

代表質問とは・・・

各会派から代表して質問します。鎌倉市議会では、2月定例会で提案される新年度予算とそれに関連する議案に対し、代表質問を行います。

新年度予算に対する各会派の評価と見解は4面・5面をご覧ください。

一般質問・各派代表質問の録画中継映像は、こちらからご覧いただけます▶



一般質問項目一覧

- ① **くり林こうこう（無所属）**
 - 1 婚姻、妊娠、育児に関わるサポートの推進
 - 2 喫煙所の設置等による非喫煙者／喫煙者双方にとってより良い街づくりについて
 - 3 選挙事務の効率化
- ② **松中 健治（無所属）**
 - 1 コロナ禍の松尾市長の政治姿勢
 - 2 コロナ、災害、財政、予算、文化財、ゴミ、環境
- ③ **岡田 和則（鎌倉アプデ）**
 - 1 避難所及び災害ボランティアセンターについてのその後
 - 2 大船のまちづくり
- ④ **千 一（無所属）**
 - 1 湘南深沢駅をバリアフリーに
 - 2 鎌倉駅の安全性について
 - 3 コロナと障がい者について
- ⑤ **長嶋 竜弘（無所属）**
 - 1 子ども達を守る為に、無知で無責任な大人達の意識を改めさせる為に、新型コロナウイルス感染症の真実を明らかにする

【用語の解説】

※鉄道駅バリアフリー料金制度

エレベーターやエスカレーター、ホームドア等の整備を通じ、高齢者や障害者だけでなく全ての利用者が受益するとの観点から、鉄道駅のバリアフリー化のための費用を運賃に上乗せする料金制度。

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるものです。2月定例会では5名の議員が一般質問を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施しています。

ここでは、議会広報委員会でも事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、6月上旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

鉄道駅のバリアフリー化

鉄道駅のバリアフリー化について、次の質問が行われました。

【湘南深沢駅】

質問：湘南モノレールの湘南深沢駅にはエレベーターが設置されていない。駅の近くには深沢支所もあるのに、車椅子の方でも昇り降りができるエレベーターのようなものがあるとよいのだが、早急に設置できないか。

まちづくり計画部長：鎌倉市内にある湘南モノレールの駅バリアフリー化について

は、これまで湘南モノレールと国がそれぞれ事業費の3分の1を、残る3分の1を神奈川県と鎌倉市が折半して6分の1ずつ負担し、湘南深沢駅を除いて整備してきた。湘南深沢駅は平成30年度に湘南モノレールが工事着手を予定していたが、地盤改良等が必要となったことから、令和2年度に工事が延期された。さらにその後、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、工事の時期は未定となった。市としては、早期

バリアフリー化が望まれていることや、工事がさらに遅れると深沢地域整備事業の工事との調整が新たに課題となることから、一日も早く工事着手ができるよう、整備計画やスケジュールを構築するように湘南モノレールに働き掛けているところである。併せて、バリアフリー化を促進するために、従来型のエレベーター等昇降施設への補助に限定せず、補助率の高い新たな補助の活用に向けて、湘南モノレールと調整を行っているところである。

【JR鎌倉駅】

質問：JR鎌倉駅のホームはとても狭く、階段の柱があるところなどは、転落の危険もある。JR鎌倉駅のホームの幅を広げることはできないか。できないのであれば、せめてホームドアのようなものを設置していただきたいが、いかがか。

同部長：JR鎌倉駅のホームの拡幅については、これまでJR東日本に要望してきた。しかし、拡幅するためには待避線用地を使う必要があり、これをホーム用地とすることはできないとの回答をいただいている。ホームドアの設置については、車両扉の位置が一定でないという課題があるとしつつも、東京圏在来線の主要路線として令和14年度末頃までの整備を目指すとしている。ホームドアの設置については多額の費用と時間がかかることから、鉄道駅のバリアフリー化を加速するために、国土交通省が令和3年12月28日に鉄道駅バリアフリー料金制度（※）を創設したところである。今後はこれらの動きに注視するとともに、引き続きさまざまな機会を捉えて、観光駅である鎌倉駅の特性を踏まえたホーム上での安全性の確保についてJR東日本に要望していきたい。

回答をいただいている。

ホーム上での安全性の確保については、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通して要望してきた。JR東日本からは、イベントなどの開催や観光シーズンなど多数の来訪が見込まれる際には、ホームおよびコンコースなどに社員またはガードマンを配置し、駅の安全性に取り組むとの回答をいただいている。

2月28日開催 審査した内容(議案2件、陳情2件、報告事項7件)

報告事項 梶原四丁目用地利活用事業の取組状況について

陳情第42号 野村総合研究所跡地利活用に関して市民に開放するよう求める陳情

梶原四丁目用地利活用事業について、次点交渉権者である株式会社アイネットが本事業に係る交渉を辞退したことを受け、用地の寄付者の意向を尊重し、民間企業への貸与を行わず、市民に開放するよう求める陳情が提出されました。

これに対して、担当課からは、今後も市民に対して事業の進捗状況や再公募に関する内容を丁寧に説明しながら、市民参画のもとに策定された鎌倉市公的不動産利活用推進方針の「自然環境を生かした利活用（市民への開放を含む）と企業誘致」という考え方に沿って、改めて事業者の公募を行っていくとの説明がありました。

委員会では、研究所跡地の安全管理や再公募の条件などについて質疑が行われた後、報告事項について了承、陳情第42号については「継続審査」とされました。

2月24日開催 審査した内容(議案1件、陳情3件、報告事項6件)

陳情第31号 山ノ内交番の存続を求める意見書の提出についての陳情

陳情第37号 JR北鎌倉駅前の山ノ内交番の存続を求める意見書提出についての陳情

陳情第38号 山ノ内交番の統合（廃止）計画見直しについての陳情

3件の陳情はいずれも、令和5年(2023年)3月に統合(廃止)が予定されているJR北鎌倉駅前の山ノ内交番について、意見書の提出などにより、関係機関に対し存続を働き掛けるよう求めるものです。

陳情第31号および陳情第37号は、令和3年（2021年）12月定例会で委員会に付託され、神奈川県警察や地域住民の事情を十分に把握すべきであることから、継続審査とされていたもので、令和4年（2022年）1月に委員会委員と神奈川県警察との意見交換を行い、山ノ内交番の統合（廃止）の理由や現在の状況、交番が統合（廃止）された場合の安全対策の計画等について調査を行いました。

令和4年（2022年）2月定例会では、陳情第31号および陳情第37号、ならびに新たに委員会に付託された陳情第38号を加えた3件について、神奈川県警察との意見交換や市の説明などを踏まえた上で審査を行ったところ、駅前に交番があることによる犯罪抑止効果が大いことや、地域住民の意見を神奈川県警察などにしっかり伝えていくべきといった意見が出され、いずれの陳情も総員の賛成により採択されました。

なお、これにより、委員会から議長宛てに意見書提出議案を提出し、この議案は3月4日開催の本会議において総員の賛成により採択されました。

市民環境常任委員会

常任委員会

総務常任委員会

建設常任委員会

このほかに、新年度予算関係議案の予備審査を行いました。

教育福祉常任委員会

2月25日開催 審査した内容(議案3件、陳情1件、報告事項9件)

議案第73号 特定事業契約の締結について

現在の笛田住宅および深沢クリーンセンター所在地における鎌倉市営住宅集約化事業に係る特定事業契約を随意契約により、以下3社と締結しました。

①青木あすな建設株式会社 ②株式会社市浦ハウジング&プランニング東京支店 ③ウスイホーム株式会社 ※契約期間は令和9年（2027年）3月31日まで

事業の日程は、令和4年度から設計や既存建物の解体、令和6年度に深沢クリーンセンター西側用地の整備、笛田住宅入居者の移転、令和8年度に残りの用地整備を完了、深沢・梶原・梶原東住宅および一部の岡本住宅入居者の移転を行う予定です。

事業の内容は、鉄筋コンクリート造5階建ての住棟5棟、地域の福祉拠点等に活用できる施設を整備する予定です。また、高齢入居者等の移転への不安が取り除かれるよう配慮し、事業者による入居者移転支援を行うとのことです。

本事業に係る消費税額および地方消費税額を含む契約金額は90億2000万円です。委員会では、事業者提案の福祉拠点導入案や、入居者への説明状況、若年ファミリー層入居枠等の質疑が行われました。本議案については総員の賛成により可決されました。

敷地西側から見たイメージ



2月22日開催 審査した内容(請願1件、陳情4件、報告事項7件)

報告事項 かまくらU L T L Aプログラム等の取組状況について

かまくらU L T L Aプログラムは、不登校または休みがちであるなど学校に通うのがつらいと感じている児童・生徒を対象とした探求プログラムで、参加者一人一人が鎌倉の地域特性を生かしたプログラムを通して、個性や特性に応じて自分らしく学ぶ方法を見つけることを目指すものです。

令和3年（2021年）9月下旬から、チラシの配布、保護者向けのメール、市ホームページおよび広報かまくらなどにより本プログラムの周知を行うとともに、特設サイトにて登録受付を行ったところ、31名の登録があったとのこと。10月27日、28日および12月11日に浄智寺において実施された「森のプログラム」では、身体活動や竹を研究して楽器を作るなどの活動が、また、11月12日、13日および20日に由比ヶ浜海岸および株式会社カヤックの会議室において実施された「海のプログラム」では、地引網や3Dプリンターを使った寿司のシャリ型づくりなどの活動が行われ、ともに15名の参加があったとのこと。

今後は、本プログラムでの学びの成果を生かせるよう、対象児童・生徒の所属する学校へ情報共有を行うとともに、事業評価に取り組むとのこと。

委員会では、報告事項について了承されました。

令和4年度一般会計予算等を審査
一般会計予算を可決

1 予算関係議案の提案

2月10日開催の本会議において、市長から令和4年度の市政運営に対する所信と施策概要の説明が行われ、一般会計予算、6特別会計予算など、令和4年度予算関係議案14件の提案がされました。

3 予算特別委員会審査

予算特別委員会では、3月7日から11日にかけて、付託された予算関係議案について、担当当局に対し質疑を行いました。また、3月14日は、施策の一部について市長および教育長に対し質疑を行い、鎌倉市労働需要調査や生涯学習センター管理運営についての見解をいただきました。

4 修正案の提出

(各予算規模)

一般会計／過去最大の671億6000万円(前年度比9・5%の増)

(各予算規模)

一般会計／過去最大の671億6000万円(前年度比9・5%の増)

2 予算特別委員会の設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

○教育費

生涯学習センター管理運営事業について、利用時間区分の変更は活動の継続に支障を来すとの声が要望書等を通じて数多く出されていることから、生涯学習施設予約システム改修委託料など581万7千円を減額。

2 予算特別委員会の設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

2月21日に開催された本会議で、各会派からの代表質問を終えた後、特別委員会設置

○予備費

581万7千円増額。

5 予算特別委員会採決

令和4年度一般会計予算など14議案の採決を行いました。その結果、一般会計予算は、修正案について否決、原案について可決、大船駅東口市街地再開発事業など6特別会計予算および7件の条例議案は、それぞれ原案のとおり可決しました。

6 審査結果の報告

3月18日の本会議において、予算特別委員長から審査結果等が報告され、次の意見が付けられました。

①防災力および防犯力の強化ならびに広報・広聴事業について

災害ボランティアセンター設置のためのマニュアルについて、一刻も早い完成を求めるほか、災害の危険が予測される場所には居住しないなどの施策誘導についても中・長期的に検討することを求める。

②交通不便地域における対策について

本市の一部地域で既に実証実験を行っている新たな交通システムの導入についてさまざまな制度を組み合わせるなど、本市になじむ制度の実現に向けた取組を求める。

③大河ドラマ事業について

一過性の施策とせず、看板の整備や混雑改善、観光の分散化、市民や子どもたちの教育や啓発の充実、鎌倉の新たな魅力を感じられるイベントの実施など、今後の鎌倉のまちづくりに生かせるものとすることを求める。

④生涯学習センターの管理運営について

本年10月1日から予定される利用時間区分の変更については、利用者ニーズを慎重かつ的確に把握し、さらなる対応を行っていくことを求める。

7 本会議で採決

委員長報告の後、7会派の議員および1名の無所属議員から、討論として、原案に対する賛否の意見が表明されました。

その後、採決を行った結果、一般会計予算、大船駅東口市街地再開発事業、国民健康保険事業、公共用地先行取得事業の3特別会計予算および3件の条例議案は多数の賛成により原案を可決、介護保険事業、後期高齢者医療事業、下水道事業の3特別会計予算および4件の条例議案は総員の賛成により原案を可決しました。

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

その後、一部の議員から、一般会計予算の執行に関する附帯決議案が提出され、採決を行った結果、多数の賛成により原案を可決しました。(附帯決議の内容は、下面に掲載)

可決した意見書・決議

2月定例会では、次の意見書提出および決議に係る議会議案を可決しました。なお、可決した意見書は、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に送付しました。

山ノ内交番の統合(廃止)の計画見直しを求めることに関する意見書

令和3年(2021年)10月に、大船警察署から地域住民に対し、J R北鎌倉駅前に所在する山ノ内交番を令和5年(2023年)3月に廃止し、最寄りの台交番に統合する旨が伝えられた。

山ノ内交番は、閑静な住宅街のほか、商店、保育園、幼稚園、小・中学校、高等学校などに近接しており、近隣住民はもちろんのこと、通園する園児、通学する子供・学生、その保護者などにとって、安全・安心の要となっている。

またJ R北鎌倉駅は、周辺に立地する寺社などを目的とした観光客が多く来訪する、観光都市・鎌倉の玄関口ともいえるべき場所であり、昼間人口の多さから、山ノ内交番は道案内や拾得物の預け先としての役割はもとより、トラブルの際の駆け込み先としての役割が非常に大きいといえる。

統合先とされている台交番と山ノ内交番とは約2キロメートルもの距離があり、山ノ内交番が廃止された場合には、周辺地域に対して山ノ内交番が果たしていた犯罪抑止の効果が失われることが危惧される。有事の際の駆け込み先を失った近隣住民や、近隣の学校等に通う子供や保護者の不安は想像に難くない。

令和3年(2021年)12月に降行行われている地域住民を対象とした説明会においても、山ノ内交番の統合(廃止)に反対する声や不安の声が多く上がっている。

地域の安全対策に、市、住民、警察との連携がより一層求められている昨今、高齢化率の高い本市における交番の果たす役割は非常に重要であるといえる。

よって、神奈川県及び神奈川県警察においては、神奈川県警察交番等整備基本計画における山ノ内交番の統合(廃止)を見直し、地域住民の声を聴きながら、存続を望む地域住民の安全・安心に資するよう、最大限の方策を検討し、その実現に努めることを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年(2022年)3月4日

鎌倉市議会

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議することに関する意見書

去る2月24日、国際社会の警告を無視し、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始し、一般市民を含め多数の死傷者が出ている。これは国際秩序を根柢から破壊する暴挙であり、断じて許されるものではない。また、明らかに国際法・国連憲章違反であり、大国が身勝手な論理で一方的に他国を力でねじ伏せることがまかり通れば、国際法が意味をなさないものになってしまう。

さらに、プーチン大統領は核兵器の使用もほのめかして欧米を牽制しているが、これは国際社会・人類に対する恫喝であり、言語道断。絶対に許されるものではない。

よって、「平和都市宣言」を掲げる鎌倉市の議会として、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や主権侵害に対し、断固抗議の意を表するとともに、ロシア軍を完全かつ無条件で即時に撤退させるよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求めるものである。日本政府におかれては、ウクライナに在住する邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、今後も関係各国及び国際社会との緊密な連携の下、ロシアに対する経済制裁及びウクライナへの経済支援など、厳格かつ適切な対応を講じつつ、外交交渉により、ロシア政府に対して、核兵器不使用、即時停戦、ウクライナからのロシア軍の即時撤退を呼びかけるよう、強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年(2022年)3月4日

鎌倉市議会

令和4年度鎌倉市一般会計予算の執行に関する附帯決議

令和4年度鎌倉市一般会計予算において生涯学習センター管理運営に係る事業費2億1786万9000円が計上されている。生涯学習センターの管理運営は、鎌倉市生涯学習センター一条例に基づいて行われるが、同条例は令和3年12月定例会において改正され、その施行日は本年10月1日とされている。しかるに、改正内容のうち特に利用区分の変更については、利用者及び利用団体から、従前に比べ使いづらくなる、利用実態に合わないという批判の声が上がり続けて今日に至っている。

もとより生涯学習センターの管理運営の見直しは市民サービスの向上を目指して行われたものであるところ、サービスの低下であると受け止める利用者及び利用団体が相当数に及ぶことは看過できない。一方で、利用区分に係るニーズが活動形態に応じて多様であることも、この間明らかになってきたところである。

よって、市教育委員会におかれては、本年10月1日から半年を経た時点で利用者及び利用団体においては漏れなく、また、一定数の未利用の市民も対象に、利用実態・利用区分の使いやすさ・予約の取りやすさ等についてのアンケート調査を必ず行い、その結果から利用区分の再度の変更が必要であると判断された場合は、できる限り速やかに変更を行うことを求める。なお、アンケート調査の実施に際しては、準備期間を十分に取って実施を周知するとともに、丁寧に公正な分析を行うよう強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年(2022年)3月18日

鎌倉市議会

請願・陳情の議決結果

2月定例会では1件の請願、10件の陳情が提出されました。そのうち、陳情2件を全議員に配付し、請願1件、陳情8件を各常任委員会に付託し、令和3年12月定例会で継続審査としていた陳情2件と合わせて、審査を行いました。その後、本会議において陳情3件を採択し、陳情1件を不採択としました。また、請願1件、陳情6件を継続審査としました。結論が出た陳情の要旨および結果は次のとおりです。

【採択した陳情】

◇山ノ内交番の存続を求める意見書の提出についての陳情

陳情の要旨 神奈川県警察大船警察署から、山ノ内交番を統合(廃止)するという連絡があったことから、山ノ内交番の存続を切望する住民の声を受け止め、山ノ内交番の存続を神奈川県の関係機関に働き掛ける意見書の提出を求めるものです。

◇J R北鎌倉駅前の山ノ内交番の存続を求める意見書提出についての陳情

陳情の要旨 J R北鎌倉駅前の山ノ内交番が存続されるよう、関係機関への意見書の提出を求めるものです。

◇山ノ内交番の統合(廃止)計画見直しについての陳情

陳情の要旨 神奈川県警察交番等整備基本計画により、山ノ内交番を統合(廃止)することに対し、神奈川県警察が計画の見直しを行うよう働き掛けることを求めるものです。

以上3件は、市民環境常任委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

【不採択とした陳情】

◇東海道線の村岡新駅(仮称)の市分担金に関し深沢地区の区画整理事業の保留地処分金を充当するとの鎌倉市の方針に関して法に照らし適正か否かの検証を求める陳情

ヴィジョン



後藤吾郎議員

コロナから経済発展への 転換期とするために

鎌倉のヴィジョンを考える
会は、令和4年度一般会計予算ほか諸議案に対し、会派代表質問、予算特別委員会に委員として参加、質問し、全ての議案に関して賛成しました。令和4年度は新型コロナウイルス感染症がまだ落ち着きを見せない中、一般会計で過去最大の671億円あまりを計上しており「ミライツクル予算」と表現されております。積極的な財政出動に関して賛成であります。以下会派として質問および要望した内容を項目別にお伝え致します。

健康福祉分野においては「ケアラー支援」条例制定に向けて必要な準備を、「補助犬フレンドリーなまちづくり」に向けて一層の支援を、またコロナ禍におけるフレイル予防活動のさらなる発展を求めました。

学校教育分野からはコロナ禍における学習機会の確保を求めるとともに、部活動などスポーツの機会を極力制限しないよう求めました。また子どもたちの「居場所づくり」に関してニーズ調査をした上で早期に新規設置していくよう求めました。

生活環境およびみどりの分野からは脱炭素社会の構築に向けて、またインクルーシブ公園の設置に向けてそれぞれ進捗を確認し、それぞれ今後の発展を求めました。

防災については令和4年度は大河ドラマ「鎌倉殿の13人」

鎌倉アップデート



藤本あさこ議員

当事者の声で インクルーシブな社会を！

4月の改選により新しく発足した本会派「鎌倉アップデートトチャレンジ」は常にインクルーシブな社会を目指した目標で質疑・討論を行いました。その政策には弱者の目線が含まれているか？を常に考えて、令和4年度予算ほか諸議案については賛成しました。

●鎌倉市内に インクルーシブ公園が実現

当会派の本丸の政策提言としていました「インクルーシブ公園の整備事業」に予算が付きました。多くの方が期待を寄せている本事業に対して、市が迅速に動いてくれたことをとても嬉しく思います。

公園に関する課題は他にも多々ありますが、一つ一つしっかりと対処していく必要があります。予算対象以外の政策もしっかりと進めていただくよう要望しました。

●生理の貧困対策が実現

令和3年6月定例会にて議会決議として提出した「市立小・中学校での生理用品設置を求めることに関する決議」から継続した要望を経て、無事に令和4年度からは市内すべての小・中学校の個室トイレに生理用品が設置されることになりました！コロナ禍ということもあり、平時よりも生きづらい子どもが増えている中で、できる限りの支援のセーフティネットを張っていただくよう要望しました。

公明党



児玉文彦議員

安定的財源確保と 持続可能な都市経営を

令和4年度鎌倉市一般会計予算額は過去最大の約671億6千万円です。これは松尾市長の所信にある「ミライツクル予算」としての未来への投資を含め、近年にない積極的財政出動の表れであり、新型コロナウイルス対策をはじめ、共生社会の構築、子育て・教育、安心・安全なまちづくりに重点をおいた予算案であると評価し、予算案に賛成しました。

市として積極的に税収確保に取り組むことは重要で、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」による経済効果が期待される中、「鎌倉応援キャッシュレス割引キャンペーン事業」の実施など、観光を中心とした本市独自の地域活性化施策は評価するものです。

地方交付税不交付団体である本市は経常収支比率の改善が財政課題です。令和4年度の人件費が令和3年度より約5億円減額したことを評価したうえで、DX推進による業務効率化で、行政サービス・市民サービスの向上を図ると共に、市の正規職員数と非正規職員数のバランスが取れた適正かつ有効的な職員の配置を求めました。

老朽化した社会インフラ対策は市民の安心・安全な生活、防災・減災の観点から最優先課題です。公明党は一般質問や代表質問において土木費の増額を主張してきました。令和4年度の防災・減災の予算額が前年度より約9億円増額している点を評価するとともに、各事業の計画通りの推進を求めました。

●新しい鎌倉観光の契機に

鎌倉を舞台にした大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で初めての大河ドラマ館を設置しました。鎌倉はもともと観光客がたくさん訪れる街であります。これまで「消費するだけ」の観光ではなく、新しい観光の在り方を要望しました。

鎌倉を愛し、何度も足を運んでくださるコアファンの方々を巻き込んで新しい鎌倉観光の在り方を検討するファシニティングの開催などを要望しました。

日本共産党



高野洋一議員

大型開発を見直し、 市民生活への支援強化を

一般会計予算など5議案に反対し、その他の9議案については賛成しました。以下、中心点について述べます。

●過去最高の財政調整基金高 になる見込み、有効活用を 歳入に関連して、財政調整基金が大幅に増加し過去最高額の60億円に達する見込みです。市当局は災害時等の備えとして40億円以上は確保したいと答弁していましたが、相当多額の積立です。

何よりもコロナ禍で市民の暮らしを応援する立場で、市民への経済的支援等の充実に努めるよう求めました。予算審議では、高齢者への交通費補助制度の復活、多くの方が悩まれている難聴への支援として補聴器購入の補助など施策の実施を求めました。

●市民との信頼関係を大切に した職員体制構築について

市政運営の基本問題として、福祉や教育など市民生活にとって重要な部門について、市民との信頼関係を大切に、質量ともに職員体制の改善が必要です。特に雇用について、今や働く人の約4割、女性や若者の5割以上が非正規雇用になっています。労働法制の規制緩和による非正規化の増大は、雇用を不安定にしただけでなく、日本経済そのものを弱くしてしまいました。

市として市民ニーズや業務

の実態に即した雇用の再構築が必要で、少なくとも図書館の正規司書を早期に採用することや、道路や河川の修繕など安全な市民生活に欠かせない作業センターの技能労務職の新規採用に向け方針の転換を図るよう求めました。

●大型開発の見直しを：深沢 地域整備事業について

今後、市が計画している大型事業や公共施設再編整備について強い懸念があります。特に、深沢地域整備事業について、右肩上がりの経済状況ではなく、これから本格的な人口減少社会に入り、本当に企業誘致や留用地処分が計画通りに行われるのでしょうか。このまま都市計画を進めれば、事業区域内に建築物が建設され始める令和10年度に「まちびらき」を行うとのこととです。

新駅建設はその後の予定になりますが、大局的にみて、大型開発事業に踏み出すことはリスク管理の点から疑問と言わざるを得ません。

市民にとって近距離の駅は、湘南モノレール深沢駅や町屋駅、JR大船駅で、市外の村岡新駅ではありません。新駅ができて土地評価が上昇すると、周辺地域の住民が約11億円の増税になる見込みです。大型開発は慎重な姿勢で、新駅建設による一体開発ではなく、深沢のまちづくり計画を見直すよう求めました。

市として市民ニーズや業務

ゆめみらい



前川綾子議員

意見として残した6つの項目

2022年度の予算案の考え方としてコロナ収束後を見据え、まちの未来を切り開く過去最大規模の予算として『ミライツクル予算』が掲げられました。55項目の重点事業を含む428項目にも及ぶ小事業(特別会計を含む)が提案され、審議にあたりまし

た。事業を進める上で、まず重要なのは、できるだけ多くの市民が、同じ目線で手をつなぎ、夢を持って鎌倉の未来を一緒に見据えて進むこと。このために血の通った丁寧な説明と、理解を得るために『広報・広聴事業』の充実に努力することを強く求めました。

審議の中では、数々の質問を致しましたが、とりわけ意見として6つの項目を残しました。

1点目に『広報・広聴』の大切さを揚げました。

2点目には、いつ大規模災害が起きてもおかしくない状況下で、『災害ボランティアセンター設置に関するマニュアルの完成』に一刻も早く取り組むよう求めました。

3点目には近年、火災による大きな被害が全国的に見られます。木密地域での被害が大きくなり、火災の原因は様々ある中で『漏電による防災診断の強化』を求めました。

4点目は、教育関係。やっと始まるという感が強い『コミュニティ・スクール整備

ネット



保坂令子議員

市民の暮らしの課題に向き合う市政運営を

一般会計予算からは、変化の時代に向き合う大きな構想が見て取れませんでした。

●福祉施策に大きな構想を

5年前の社会福祉法改正で、市町村は地域共生社会の実現に取り組むことになりました。新年度は、属性を問わない相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援の三つを一体的に実施する包括的支援体制が、委託事業を軸に整備されていきます。

複雑化・複合化した支援ニーズに対応することで、多分野の支援関係機関の連携が促され、「支援対象者に対する支援」と同時に、「支援する側に対する支援」の強化を図るとのことです。従来の福祉施策は、高齢者・子ども・障害者・生活困窮者などの対象(属性)ごとでした。横断的な連携強化が必要なのは確かですが、対象ごとの福祉事業の担い手が不足する現状を前提にするのではなく、現状の改善につながる展開を視野に入れるべきです。健康福祉部内にも、包括的支援体制を体系的に把握する担当が必要です。

●市民参加に大きな構想を

つながらる鎌倉条例制定後に設置された市民活動推進基金を活用した「かまくらエール事業」が始まります。協働の裾野を広げ、地域や社会の課題解決を図るには、新しい担い手の発掘・育成とともに、協働の分野・領域を広げるこ

かわせみ



竹田ゆかり議員

「命や暮らしの安全保障」を中心に据えて

鎌倉市の行政運営・予算編成の特徴は、当たり前な市民生活や権利を保障する事業については他市に遅れを取りながら、一方でさまざまな「お試し事業」にことさら予算をつぎ込んでいる感が否めない。新年度予算については一部改善されたものの、まだ不十分と言わざるを得ない。また市長の「予算提案説明」では、「女性」「高齢者」の言葉が一言もなかったことも、その一端の表れといえる。代表質問では36項目92の質問を行い、再質問、再々質問までいったが納得できる答弁は得られなかった。以上の理由により、新年度予算について反対討論を行った。

●男女共同参画事業の促進

国の「第五次男女共同参画基本計画基本方針」では「今ほど男女共同参画の視点が求められる時代はない」と述べている。市の「男女共同参画」の取り組みは「担当」レベルだが、「課」として取り組むべきであると質した。

また、市内事業者向けに行っている「鎌倉の労働需要調査」の質問項目から「ひとり親家庭の親の雇用状況」や「男女雇用格差」に関わる質問項目が削除されたことの問題性を指摘し理事者質疑を行った。

●高齢者雇用促進事業の推進

70歳まで働く機会の確保を企業の努力義務とする「高齢者雇用安定法」が昨年4月か

自民党



志田一宏議員

希望ある社会を次世代へ引き継ぐ

皆様には、コロナとの闘いにおいて2年以上にわたり、不自由な生活をお願いしてきました。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、皆様が笑顔で家族、ご友人と接し、日常を取り戻すことができるよう、コロナ対策に万全を期してまいります。過去最大となる鎌倉市一般会計予算ほか諸議案に賛成しました。

●選択と集中の予算

第3次総合計画第4期基本計画では、令和5年度当初予算が編成できないと記載があり、令和4年度予算が選択と集中の予算編成となっているか。今後も、少子高齢化の進行により財政の硬直化がより深刻になる中で、後年度の市政運営に支障が出ないのか。また、行財政改革による歳入確保を求め、行政から令和5年度当初予算は現時点で編成できる見込み。今後も行財政改革に取り組んでいくのとこととで、評価します。

●職員の研修

市役所職員の多くが全体の奉仕者として必死に働いていますが、一部、社会性に疑問を抱く職員もいるので、職員一人一人のモチベーションを向上させ、能力を最大限発揮できるよう求めました。

●地方創生

コロナ禍で、働き方や生活環境が変化の中で鎌倉市に移住したい家族が増えています。

す。今後も「働くまち」としての鎌倉「住みたい・住み続けたいまち」としての鎌倉を創生していくとことで評価します。

●誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化

長年の課題を解決し、新たな価値で経済発展と社会的課題の解決を両立するソサエティ5.0時代、行政のデジタル化、公共施設再編、スマートシティの取り組みを加速させ、より一層の行財政改革を求めました。

●国際儀礼

国際交流を推進する上で、必要な国際儀礼を習得するよう求め、そのように取り組むとことで評価します。

●学習者主体の学校教育

児童支援専任教諭の役割、人材育成、教育センターでの研修が児童・生徒の成長にどのように活かされているのかただしました。

●救急搬送困難事案

コロナに起因した救急搬送困難事案が他市ではありますが、鎌倉市では無いとことで、評価します。

●まとめ

令和22年(2040年)頃から鎌倉市の高齢者人口はピークを迎えます。少子高齢化問題乗り越え、一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ(ウェルビーイング)の実現を目指し、鎌倉市の課題解決の先頭に立って働きます。

議決された主な議案等

※2月定例会では、市長提出議案35件、委員会提出議案1件、議員提出議案3件、陳情4件の採決を行いました。
※3月臨時会では、2月定例会で原案可決された議会議案第12号に関し市長から再議に付された件について、採決を行いました。
※下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。 ○：賛成 ー：反対 欠：欠席 退：退席

会 派 名				※会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成されます。 ※会派に属する議員は代表質問を行うことができます。 また、議会運営委員会や予算・決算等特別委員会の委員となることができます。				夢みらい鎌倉				鎌倉の ヴィジョンを 考える会				公明党 鎌倉市議会 議員団		日本共産党 鎌倉市議会 議員団		神奈川 ネット・ワーク 運動・鎌倉		自由民主党 鎌倉市議会 議員団		鎌倉かわせみ クラブ		鎌倉アップデート チャレンジャー		無 所 属			
議 員 名								◎池田 実 中里 成光 日向 慎吾 前川 綾子				◎久坂 くにえ 後藤 吾郎 出田 正道 中村 聡一郎				◎納所 輝次 児玉 文彦 大石 和久		◎吉岡 和江 武野 裕子 高野 洋一		◎保坂 令子 井上 三華子		◎森 功一 志田 一宏		◎竹田 ゆかり くりはらえりこ		◎藤本 あさこ 岡田 和則		千 一 くり林 こうこう 長嶋 竜弘 松中 健治			
主 な 議 案								議決結果																							
2月定例会	条例	第77号	鎌倉市消防団員の定員、任用、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第97号	鎌倉市子どもの家条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	補正予算	第78号	令和3年度鎌倉市一般会計補正予算（第14号）	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第79号	令和3年度鎌倉市一般会計補正予算（第15号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	新年度予算	第87号	令和4年度鎌倉市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人事	第104号	鎌倉市副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議会議案	第10号	山ノ内交番の統合（廃止）の計画見直しを求めることに関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		第11号	ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議することに関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		第12号	鎌倉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	—	—	—	—	退	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		第13号	令和4年度鎌倉市一般会計予算の執行に関する附帯決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月臨時会		再議	議会議案第12号鎌倉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について再議の件	3月18日の議決を否決	—	—	—	—	退	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ 令和4年（2022年）3月3日付で「公明党鎌倉市議会議員団」の代表者は納所輝次議員に変更。

2月定例会

2月定例会では、委員会から1件、議員から35件の議案が、また市長から35件の議案が提出されました。

主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

《委員会提出議案》

山ノ内交番の統合（廃止）の計画見直しを求めることに関する意見書の提出について
【議会議案第10号】（意見書の本文は3面に掲載）

市民環境常任委員会から議案が提出されました。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

《議員提出議案》

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議することに関する意見書の提出について
【議会議案第11号】（意見書の本文は3面に掲載）

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

鎌倉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
【議会議案第12号】

12月定例会において議決した「鎌倉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例」では、集会室等の利用区分について、従前の午前・午後・夜間の3区分から、2時間ごとの5区分に改められ、当該規定の施行日は令和4年10月1日とされていました。

この利用区分の改正について、利用団体等から、活動が制約され、活動の継続に支障を来すとの声が多く寄せられたことを踏まえ、従前の3区分に戻すなどの改正を行うおうとするもので、公布の日から施行しようとするものです。

とすると、公布の日から施行しようとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

なお、本件は3月臨時会において再議（※）に付され、採決の結果、この議決のとおり決定することを否決しました。詳しくは、下の「3月臨時会」の内容をご覧ください。

《市長提出議案》

条例関係議案

鎌倉市消防団員の定員、任用、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
【議会第77号】

消防団員の年齢制限の上限を撤廃するとともに、消防団員の懲戒処分の手続きについて、鎌倉市職員の懲戒の規程及び効果に関する条例の規定を準用しようとするもので、懲戒処分に係る改正規定は公布の日から、年齢制限の上限撤廃に係る改正規定は令和4年4月1日から施行しようとするものです。

《議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。》

鎌倉市子どもの家条例の一部を改正する条例の制定について
【議会第97号】

令和5年度から「鎌倉市にかいどう子どもの家「めだか」および「鎌倉市いなむらがさき子どもの家「いなほ」を新たに指定管理施設とすることにより、市内全16小学校区の施設を指定管理施設として運営することになるため、必要な事項を定めるとともに、公の施設における受益と負担の公平性や公正性の確保のため、子どもの家利用料を段階的に引き上げるほか、利用実態に合わせて利用時間を改めようとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

一般会計補正予算（第14号）
【議会第78号】

財産管理事務および障害者福祉サービス事業などの所要の経費を追加するとともに、私立保育所等整備事業および児童手当支給事業などを減額しようとするもので、歳入歳出とも8億4408万円を増額し、補正後の総額は683億5802万5千円となります。

また、増額する経費の一部について繰越明許費を設定しようとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

一般会計補正予算（第15号）
【議会第79号】

本庁舎整備基金積立金、小児に対する新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費、鎌倉芸術館受水槽修繕に係る経費などを追加しようとするもので、歳入歳出ともに4億5346万1千円を増額し、補正後の総額は688億1148万6千円となります。

また、増額する経費の一部について繰越明許費を設定しようとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

《人事案件》

副市長の選任

【議会第104号】

鎌倉市副市長に次の方を選任することについて、多数の賛成により同意しました。

比留間 彰氏（横浜市在住）
比留間氏は、共生共創部長などを歴任しています。

任期は、令和4年4月1日から4年間です。

3月臨時会

3月18日開催の本会議において議決した「議会議案第12号 鎌倉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について」に関し、市長から、議決に異議があるとして、地方自治法第176条第1項の規定に基づき、再議に付すため再議書の提出があり、3月25日に臨時会を開催しました。

令和3年度の定例会が全て終了しました。新人議員たちはこの濃い1年を通してさまざまな経験を、議員としてたくましくなりました。

令和3年度に初めて挑戦したオンライン議会報告会ですが、令和4年度は対面とオンラインの両方の形態での実施が決まりました！意見聴取会のテーマは「多世代をつなぐ地域コミュニティ」とし、地域の活力を市全体に広めていくための自由闊達な意見交換の場にできればと考えています。令和4年4月からは成人年齢が18歳になります。若い世代の方にも議会報告会に参加いただいて声を届けてほしいという思いから、市内の各校への広報も進めています。

市民の皆さまと一緒に作る鎌倉市議会を目指しています。ぜひ報告会にご参加ください！あなたのご参加をお待ちしております！

議会広報委員
藤本あさこ

再議の件

議会では、再議に付した理由に対する質疑、ならびに討論を経て、議長も参加した上で採決を行った結果、3月18日の議決のとおり決定することに賛成した議員は13名であり、出席議員25名（退席1名あり）の3分の2である17名に達しなかったため、3月18日の議決のとおり決定することとは否決され、議会議案第12号は廃案となりました。

用 語 の 解 説

※再議
議会の議決に異議があるとして、市長が議会に審議のやり直しを求めるもので、この場合、当該議決は議決のときにさかのぼって、議決がされなかつたものと同様の状態となる。

条例の制定・改廃または予算に関する議決に異議があるとして再議に付されたときは、出席議員の3分の2以上の同意を得ることにより、当該議決が確定する。

副議長の選任
副議長の辞職に伴い、2月17日の本会議において、副議長選挙が行われ、大石和久議員が選出されました。

編集後記
令和3年度の定例会が全て終了しました。新人議員たちはこの濃い1年を通してさまざまな経験を、議員としてたくましくなりました。

令和3年度に初めて挑戦したオンライン議会報告会ですが、令和4年度は対面とオンラインの両方の形態での実施が決まりました！意見聴取会のテーマは「多世代をつなぐ地域コミュニティ」とし、地域の活力を市全体に広めていくための自由闊達な意見交換の場にできればと考えています。令和4年4月からは成人年齢が18歳になります。若い世代の方にも議会報告会に参加いただいて声を届けてほしいという思いから、市内の各校への広報も進めています。

市民の皆さまと一緒に作る鎌倉市議会を目指しています。ぜひ報告会にご参加ください！あなたのご参加をお待ちしております！

議会広報委員
藤本あさこ



大石 和久
副議長